

1. 基本情報							
事務事業番号	02178	事務事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	市長公室		
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）		担当課	ジオパーク推進課		
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		グループ	ジオパーク推進グループ		
基本事業名	001	ジオパーク活動の推進		内線番号	2142		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返（開始年度		平成20年度
	項	01	商工費		期間限定複数年度（		～
	目	06	霧島ジオパーク推進費		～		）
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島ジオパーク基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 霧島ジオパーク推進連絡協議会の事業運営費として負担金を交付する。
 霧島ジオパーク推進連絡協議会（以下「協議会」という。）：平成20年10月に、環霧島地域を組織する地域（以下「環霧島地域」という。）の美しい地質遺産を、地域住民、行政等が連携して保護・研究し、教育的活用やジオツーリズムの場として利用できる環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与することを目的として設立された。
 負担金は宮崎県都城市・高原町・小林市・えびの市、鹿児島県霧島市・曾於市・湧水町の5市2町から均等割20%、人口割80%で算出し、毎年度協議会に対し支払っている。
 協議会の事業は、環霧島地域における自然保護に関する事業、地質学的・生態学的調査研究に関する事業、地質遺産等を活用した教育啓発及び観光に関する事業、地域連携や情報発信等に関する事業等で、特定の政策・施策に限られたものではない。

活動指標（事務事業の活動量）	単位	令和 3年度（実績）	令和 4年度（見込）	令和 5年度（見込）	令和 6年度（見込）
ア 負担金を交付した団体数	団体	1	1	1	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記 対象の大きさを表す指標）	単位	令和 3年度（実績）	令和 4年度（見込）	令和 5年度（見込）	令和 6年度（見込）
ア 市民	市民数	数	123,066	123,639	122,926	123,370
イ 学校	学校数	校	55	55	55	55
ウ						
意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記 意図の達成度を表す指標）	単位	令和 3年度（実績）	令和 4年度（目標）	令和 5年度（目標）	令和 6年度（目標）
ア ジオパークのことを知ってもらおう	ジオパークの認知度	%	0	98	47	98
イ ジオパークの活動に参加してもらおう	ジオパーク活動への参加率	%	0	14	0	14
ウ ジオパークを教育活動に活用してもらおう	ジオパークについての教育	校	19	30	11	30

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針（総合計画より）
 出前講座やフォーラム、モニターツアーなどを開催し、ジオパークの認知度向上を図るとともに、ジオパークの目的である地域の持続可能な発展を目指し、関係機関や民間団体と連携しながら、地域資産の保全、教育や観光への活用、防災への取組みを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）
 霧島ジオパーク推進連絡協議会へ湧水町が再加入したことにより、環霧島地域を構成する5市2町の全域までエリアを拡大し、地域全体で活動の推進していく体制が整ったことから、令和 4年度に日本ジオパーク新規認定申請を行い、認定に向けて取り組む。
 具体的には、審査機関である日本ジオパーク委員会に認定申請を行い、プレゼンテーション（書類審査：一次審査）と現地調査に対応する。
 その他、環霧島会議との統合に向けた具体的な協議を進め、令和 5年度からの統合を目指す。

4. 事業費の推移

事業費	単位	3年度決算	4年度		5年度当初予算	6年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,033	1,146	960	1,844	1,844
事業費	千円	1,033	1,146	960	1,844	1,844

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
協議会実績 ・教育事業 出前講座（小学校 8件、中学校 2件、高校 1件） 授業支援・研究支援（県外高校 3校・国分高校） 霧島市小・中学校保健主任等研修会（42人） 夏休み子ども火山スクール（16名） ・ガイド関係 例会、研修、他ジオパークガイド交流会の開催 ・普及事業 エリア拡大周知イベントの実施（主催 3件） ・JGN関係 運営会議・全国大会・全国研修会 専門員会議等（オンライン） ・その他 日本ジオパークエリア拡大認定申請 パートナースHIP協定締結（2箇所） 火山勉強会（17名）、霧島ジオパーク作品展（2回） 霧島ジオパーク講演会等の実施（主催・後援 5件） 環霧島会議との合同会議の実施（3回） など	協議会成果 4月に日本ジオパーク委員会にエリア拡大の申請を行い、プレゼンテーション審査、現地調査を経て、これまでのエリアの約3.3倍となる総面積約27万5千ヘクタールでエリア拡大が認定された。 教育関係では、小・中・高等学校への出前講座や国分高校SSH事業への運営指導により、新たな人材育成に繋がる取組を実施することが出来た。 普及活動では、拡大エリアでのイベント等の開催や関連団体との連携・協働によるツーリズムの推進により、ジオパークへの理解度向上に繋がる取組を実施することが出来た。 また、民間事業者とのパートナーシップ協定の締結により、官民協働による環霧島地域の持続可能な発展に取組む体制の強化が図られた。 その他、令和 5年度から環霧島会議との統合により、同一事業の合理化と各市町の財政負担の軽減に繋げることが出来た。

事務事業 番号	02178	事務 事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	市長公室
				担当課	ジオパーク推進課

6. 振り返り <SEE (check)>			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	ジオパーク活動は、官民一体となって地質遺産等を保護・研究し、教育や観光、防災などに活用していくことで、持続可能な地域社会を発展させる重要な活動であり、さらに、5市2町で構成されていることから市単独での廃止・休止等の判断はできない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充					
		維持				レ	
		縮小					
		休廃止(統合含む)					
			皆減	縮小	維持		拡大
			コスト投入(予算)の方向性				
(2) 令和5年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	日本ジオパークエリア拡大認定時に指摘のあった課題等に対応したアクションプランを策定し、課題解決に取り組む必要がある。 ・構成自治体が積極的に関与する体制作り ・事務局体制の強化 ・サイトの保全・管理 ・看板等の整備による可視性の向上 ・地域住民への認知活動 ・ジオツアーの商品化やガイド力の向上 ・教育旅行への対応 など						
(3) 令和6年度の方向性(具体的な取組)	第2次霧島ジオパーク基本計画及びアクションプラン等に基づき、エリア拡大した5市2町全域の活動を充実させ、持続可能な地域社会の発展を実現すべく多種多様な事業を展開していく。 また、桜島・錦江湾ジオパークとの統合に向けた具体的な協議を進めていく。						

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
		休廃止(統合含む)	
		皆減	縮小
			維持
			拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

